

本 2023

後期日程

令和 5 年度入学試験問題
実技検査
描写表現

《木炭による石膏デッサン》

《鉛筆による石膏デッサン》

《水彩による静物着彩》

(芸術地域デザイン学部 芸術表現コース)

— 解 答 上 の 注 意 事 項 —

1. 「解答始め」の合図があるまで問題を見てはならない.
2. 出願した画材で解答すること.
3. エスキースはこの問題冊子を利用すること.
4. 解答用紙は縦長に使用しても、横長に使用してもよいが、受験番号欄が画面裏の下になるようにすること.
5. 問題冊子は持ち帰らないこと.

【問題】

モチーフを描きなさい.

注意事項

《水彩による静物着彩》を選択した場合、以下の指示に従って解答すること.

※モチーフは全て使用すること.

※モチーフは自由に構成すること.

本 2023

後期日程

令和 5 年度入学試験問題
実技検査
発想表現

(芸術地域デザイン学部 芸術表現コース)

— 解 答 上 の 注 意 事 項 —

1. 「解答始め」の合図があるまで問題を見てはならない.
2. 問題冊子, 解答用紙および下書き用紙 3 枚が配布される.
3. 解答用紙は縦長に使用しても, 横長に使用してもよいが, 受験番号欄が画面裏の下になるようにすること.
4. 募集要項に記載した用具 (鉛筆, 消し具, 鉛筆削り, 直線定規, 三角定規, コンパス) と与えられた画材以外は使用しないこと.
5. 問題冊子, 下書き用紙および与えられた画材は持ち帰らないこと.

【問題】

「対話」は双方向性の議論である．一方的な情報伝達や要請では対話にはならず，また双方向性があっても単なる交流としての会話は対話ではない．対話の場では，通常の会話とはちがいで，自分の行動や発言の根源にある感情や考え方，価値観などを掘り下げて語ることになる．それは，普段の生活では自分でもあまり意識することのないものを言語化し，相手の言葉と同じ地平に並べ，客観的に見てみることで，つまり外在化することである．

家族において，学校や会社などの組織において，国家間において，コミュニケーションのあり方が大きく変化した現代でも対話の重要性には以前と変わらぬものがある．しかし，対話を試みてもうまくいかなかった経験は誰にでもあるだろう．そのような時に「もの」，「空間」，「システム」などの力によって対話の状況が改善されることがあるのではないだろうか．

上記の内容を参考にして「対話」が活性化するためのアイデアを 3 つ提案し，文字やドローイングでそれぞれ表現しなさい．ただし，それぞれの提案にタイトルをつけること．